

登別市若山浄化センター等維持管理業務包括委託審査結果

審査項目		入札参加資格者
大項目	中項目	日鉄環境株式会社名古屋支店
業務の履行方針	業務履行の基本方針	2.92 点
	履行体制	15.00 点
各業務の履行計画	運転管理業務	32.92 点
	保守点検・修繕業務	13.75 点
	災害・事故・非常時対応業務	9.58 点
	モニタリング	5.00 点
	業務完了時の引継ぎ業務	5.00 点
	見学者対応	5.00 点
地元貢献等	地元雇用	9.17 点
	地元経済及び地元振興	6.66 点
その他自由提案		3.75 点
技術点合計 (配点：120点)		108.75 点
価格点 (配点：80点)		80.00 点
総合評価点		188.75 点

上記の者を落札者として決定した

令和 2年12月15日

登別市長 小笠原 春一 様

登別市若山浄化センター等
維持管理業務包括委託
総合評価技術審査委員会
委員長 吉田 英樹
委員 俵藤 亥久生
委員 星野 清統

登別市若山浄化センター等維持管理業務包括委託における
技術点の評価について

このことについて、令和 2年12月15日、第3回登別市若山浄化センター等維持管理業務包括委託総合評価技術審査委員会において、次のとおり評価しましたので報告します。

記

1. 委員会開催状況

令和 2年 8月 3日	第1回総合評価技術審査委員会開催
令和 2年 8月 24日	第2回総合評価技術審査委員会開催
令和 2年12月15日	第3回総合評価技術審査委員会開催

2. 評価結果

別 添

1. 技術点の評価結果

評価項目	評価内容	配点	結果
1. 業務の履行方針		20	17.92
(1)業務履行の基本方針	・発注者の基本方針に対する理解度とともに、各提案が全体として基本方針を実現するために有効であるかを評価する。	5	2.92
(2)履行体制	・配置予定の総括責任者及び副総括責任者について、保有資格と業務経験を評価する ・有資格者を含む従事者の配備計画を評価する。 ・技術の向上と継承に向けた、従事者に対する教育・研修の内容を評価する。	15	15.00
2. 各業務の履行計画		75	71.25
(1)運転管理業務	・処理水質に関する提案基準、その基準的根拠及び実現性を評価する。 ・設備機器の故障時における初期対応方法を評価する。 ・脱水汚泥の含水率に関する提案技術、その技術的根拠及び実現性を評価する。 ・し尿投入施設の運転に関する提案を評価する。 ・汚泥減量化に関する提案技術、その技術的根拠及び実現性を評価する。 ・下水道法（昭和33年法律第79号）に基づく終末処理場（オキシデーションディッチ法又は同法に高度処理を付加した処理法（高度処理オキシデーションディッチ法を含む））の施設の、維持管理実績（処理能力等）を評価する。 ・エネルギー削減・省力化に向けた運転管理に関する提案（技術的根拠及び実現性）を評価する。	35	32.92
(2)保守点検・修繕業務	・予防保全の観点から提案された保守点検方法の有効性を評価する。 ・修繕計画とその履行に関する提案内容を評価する。	15	13.75
(3)災害、事故、非常時対応業務	・災害、事故、非常時における初期対応（人数、所要時間等）と連絡体制を評価する。 ・災害、事故、非常時に対する従事者の訓練、また本店、支店、協力会社等からの応援や連携の体制を評価する。	10	9.58
(4)モニタリング	・再委託先の管理を含む、セルフモニタリングに関する	5	5

	る提案内容の具体性と有効性を評価する。		
(5)業務完了時の引継ぎ業務	・履行期間の最終年度における業務の対象施設機能の確認方法、業務引継ぎの期間・方法及び業務引継図書の内容を評価する。	5	5
(6)見学者対応	・見学者における提案内容を評価する。	5	5
3. 地元貢献等		20	15.83
(1)地元雇用	・登別市民の雇用確保（予定されている市民の雇用人数又は雇用人数全体に対する市民の割合）	10	9.17
(2)地元経済及び地元振興	・地元企業の育成・活用、経済団体等への加入、市内の事業所開設、周辺住民への対応等、地元への貢献に関する提案内容の具体性を評価する。	10	6.66
4. その他自由提案		5	3.75
	・自由提案（再生可能エネルギーの活用、節電対策、環境対策など）について評価する。	5	3.75
合 計		120	108.75

2. 評価の講評

下水処理場の維持管理業務を包括委託する際には、民間事業者のノウハウを最大限自由に活かすことによって、処理水質などの要求水準を達成しつつ、ライフサイクルコストの縮減などの効果も期待されている。

今回の登別市若山浄化センター等維持管理業務包括委託については、1社（「参加者記号 612 社」）のみが業務提案書の提出を行った。

登別市若山浄化センターは、オキシデーショondiッチ法としては例外的に大きな汚水処理能力15,000m³/日（日最大）を有し、さらに、し尿投入施設や汚泥減量化装置などが併設されているため、処理水質や発生汚泥量に関して、安定的に要求水準を満たすには高度な技術的工夫が必要であると考えられる。

この点、今回の「参加者記号 612 社」の提案では、正確な現状分析に基づいた論理的かつ実績の裏付けのある提案がなされ、今後の若山浄化センターの安定的な性能発揮に寄与するものと期待している。

また、浄化センターやポンプ場の設備機器の保守点検や修繕業務についても、予防保全の考え方を採り入れ、エネルギー削減・省力化に向けた運転管理については、シミュレーションによる省エネ運転の検証などの現実的な提案がなされ、結果としてライフサイクルコストの縮減に繋がることが期待できる内容であった。

最後に、今後も若山浄化センターが適切に維持管理されることを期待したい。

以 上